

SCHUNERTVALS

1993年の夏に、ビュゲダンスヴェンネル(Byggedansens vanner)主催の合宿でドン・ギラン(Mr. Don Gillam)氏から踊りの紹介・指導を受けたが、この踊りはその中の一つである。

この踊りは1800年末、ストックホルムで盛んに踊られていた踊りである。1930年に現在の踊り方になり、現在でもバールダンス(Baldance)として、また、フォークダンスとして人気がある。

この踊りが始まる前になると、男子は庭のバラの花一輪をパートナーの女子に捧げ、女子はそのバラの花を左手に持ち踊るのである。

バールダンスの時は、男子はフォーマルかセミ・フォーマルを着用し、シルクハットをかぶる人もいる。

女子はロング・ドレスまたはブラウスにスカートを着用する。

ダンスの由来はシューベルトが作曲したワルツが使われていることによる。

音楽 3/4 拍子 前奏 コード1つと2呼間。

隊形 ダブル・サークル、男子内側・女子外側で向かい合い、ヴァルス・ポジション(クローズド・ポジション)に組む。

この時男子の左手は女子の右手を、甲側から(親指を上置き上から)挟むようにつなぐ。

ステップ ワルツ・ステップ:カウント の時にディップする。

踊り方 空いた手は体側に自然に下げる

前踊り

・ワルツ・ステップでターン

ヴァルス・ポジションに組み男子左・女子右足からワルツ・ステップ8回でターンを行いLODへ前進する(ct ~ ,2,3)。

・LODへ前進

ポジションを解き、男子左手・女子右手の連手を上げ、男子は女子の回転をリードしながらLODへワルツ・ステップ8回で前進する。

女子は連手の下を右回りにワルツ・ステップ2回で1回転しながらLODへ前進する(ct ~ ,2,3)。

本踊り

・LODへ前進・後退とワルツ・ターン

- 1) 男子円内・女子円外で内側連手し、連手を胸の高さでLODへ伸ばし、LODへワルツ・ステップ2回で前進(ct ~ ,2,3)、互いに内まわりに半回転して逆LOD向きになり連手を持ち替えてワルツ・ステップ2回でLODへ後退する(ct ~ ,2,3)。
- 2) ヴァルス・ポジションに組み、ワルツ・ステップ4回で2回転しながら進む(ct ~ ,2,3)。
- 3) 以上の1)~2)をもう一度繰り返すが、男子は最後の右足に体重を乗せない(ct ~ ,2,3)。

・位置交代とワルツ・ターン

- 1) 男子円内・女子円外で向かい合い、男女とも右足からワルツ・ステップ2回で右回りしながら互いに右側を通り過ぎ<左肩すれ違い>位置交換し、男子円外・女子円内で向かい合う(ct ~ ,2,3)。更に男女とも右足から前進・後退のワルツ・バランスを行なうが、後退は小さく行い、女子は最後の左足に体重を乗せない(ct ~ ,2,3)。

- 2) ヴァルス・ポジションに組み、男子右・女子左足からワルツ・ステップ 4 回でターンを行いながら LOD へ進むが、女子は最後の右足に体重を乗せない (ct ~ ,2,3)。
- 3) 男子円外・女子円内から以上の 1) ~ 2) を行なうが、男子は 1) の最後の左足に体重を乗せない。2) は男子左足・女子右足から始める (ct ~ ,2,3)。

. アーチで前進と女子が男子のまわりを一周

- 1) ヴァルス・ポジションのまま男女とも LOD 向きで連手を上げてアーチを作り、男子左足・女子右足からワルツ・ステップ 1 回で LOD へ前進 (ct ,2,3)、続いて男子右足・女子左足をディップしながらステップ (ct )、男子左・女子右足をゆっくり前にスイングする (ct 2,3)。同様動作をもう一度行なう (ct ~ ,2,3)。
- 2) 連手を頭上に上げ、男子は女子をリードしながらその場でワルツ・ステップを 4 回行なう。女子はワルツ・ステップ 4 回で男子のまわりを CCW に 1 回転する (ct ~ ,2,3)。
- 3) 以上 1) ~ 2) をもう一度繰り返す (ct ~ ,2,3)。

. 噴水まわりとワルツ・ターン

- 1) 男女とも LOD へワルツ・ステップ 2 回で男子左・女子右回りしながら前進 (ct ~ ,2,3)、LOD 向きのオープン・ポジション<内側連手>になり前進・後退のワルツ・バランスを行なうが、後退する時は互いに向き合い、連手は肩の高さで逆 LOD へ伸ばす (ct ~ ,2,3)。
- 2) ヴァルス・ポジションに組み、ワルツ・ステップ 4 回でターンを行なう (ct ~ ,2,3)。
- 3) 以上の 1) ~ 2) を繰り返す (ct ~ ,2,3)。

後踊り

- 1) 前踊りの . を行なう (ct ~ ,2,3)。
- 2) 前踊りの . を行なう (ct ~ ,2,3)。

- END -

<<留意点>>

バラの花を持っている時は、女子は左手にバラの花を持ち、左手が自由な時はバラの花を左胸の辺りにおく。

クローズド・ポジションの組み方で男子の左手が女子の右手を上から取るのは、古いスウェーデンのスタイル (この踊りを紹介した樋口 麗子女史による)。

資料「TOCF - 5705」を基に作成。

文責: S.Yoko